

クラス	TU104	担当教員	東内 瑠里子
テーマ	乳幼児の生活体験と保育実践研究		
著書・論文	<p>&lt; 著書 &gt; 『子どもの生活体験学習をデザインする』共著, 光生館, 2010.</p> <p>&lt; 論文 &gt; 「過疎地の保育実践からみた最低基準—子どもの生活状況に沿った環境づくり—」, 『現代と保育』76号, 2010, pp.63-71.</p>		
研究課題等	<p>「地域の住民による一時保育と親の学習—ファミリー・サポート・センター事業の全国調査を通して—」, 『日本社会教育学会』第45号, 単著, 日本社会教育学会, 2009, pp.21-30.</p>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード: 保育内容、保育実践、乳幼児の生活体験、自然体験、直接体験			
<p><b>目的、内容、方法、授業計画等:</b></p> <p>■目的■</p> <p>「乳幼児の生活体験、自然体験」をキーワードに、現在の乳幼児の生活状況と、どのような体験が必要なのかを探っていきます。さらに、乳幼児が「生活」や「自然」について、どのような認識を持っているか把握し、どのように保育実践を組み立てていくことができるのかについて研究していきます。</p> <p>■内容、方法および授業計画■</p> <p>○理論研究として、現在計画しているものは以下の3つです。</p> <p>&lt; 3年生前期 &gt;</p> <p>① 先行研究、先行実践の文献を分担でレポートし、発表・議論します。</p> <p>② 卒業論文に向けた、研究方法について学びます。文献研究をするのか、量的研究をするのか、質的研究をするのか、それぞれどう組み合わせるか、それぞれのメリット・デメリットについて学びます。</p> <p>&lt; 3年生後期 &gt;</p> <p>③ 研究方法を学んだ上で、3年生のうちに、自分の問題関心から、1本のミニ卒業論文をまとめます。</p> <p>○演習として、現在計画しているものは以下の3つです。</p> <p>&lt; 3～4年生 &gt;</p> <p>① 昨年「季の野の台所」という美浜町の農家の方や、美浜町農業水産課などと連携し国の食育推進交付事業実施を実施しています。事業は、農業体験を軸にした食育が中心です。この事業運営に、3年生から4年生の合計2年間かわり、参加してくる乳幼児（あるいは子ども）の直接体験を援助する経験をします。例えば、小麦を栽培して醤油を仕込んだり、石窯を作りながら、最後に小麦粉でピザを焼いたりするなどじっくりと時間をかけた取り組みにしたいと思っています。</p> <p>② おもちゃ王国との連携も予定しています。（詳細未定、現在未実施）</p> <p>&lt; 長期休暇中 &gt;</p> <p>③ 乳幼児の生活体験を援助している優れた保育実践園の見学に出かけます。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<p>① 「季の野の台所」での活動には、年間1万円（材料費、施設利用費）がかかります。</p> <p>② 長期休暇中に、見学に行く際には、旅費（視察先による）がかかります。</p> <p>③ 自分の問題関心を持ち、自発的に動かなければ研究はできません。一人では深められないことも友だちとなら深められるかもしれません。ぜひ、積極的にゼミへ参加してください。</p>			